

概要

○令和5年度は、マッチングサイトの運営及びマッチングセミナーの開催に加え、**自治体等が持つ「官民ネットワークとの連携強化」**や**「事例の展開」**を実施予定。

活動内容	説明
マッチングサイトの運営	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応を行う地方公共団体等のニーズと民間企業等が持つ先進技術のマッチングの場の提供など
マッチングセミナーの開催	
重点施策：官民ネットワークとの連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体等が持つ官民ネットワークの取組みを調べ、官民連携のマッチング創出に向け相互協力が可能か検討・実施
新規施策：事例の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・防テクPF活用の事例、防災に関する先進技術の導入・効果的な活用の事例をセミナー等で積極的に紹介

マッチングサイトについて



概要

- 「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」（防テクPF）の一環として、災害対応を行う 地方公共団体等の困りごとや関心事項（ニーズ）と民間企業等が持つ先進技術のマッチングを行う「マッチングサイト」を開設（R3.7）。
- マッチング機能に加え、平時から復旧・復興期までの災害フェーズ、風水害、地震といった災害種別等に応じてニーズ/先進技術の検索も可能。

ニーズの登録例

- 河川水位等を観測・通知する仕組み
- 外国人等情報弱者への避難情報伝達
- 効果的な防災訓練の手法 等

地方公共団体等

ニーズの登録

技術の検索

マッチングサイト

防 災 × テ ク ノ ロ ジ ー

官民連携プラットフォーム

地方公共団体等

ニーズ

民間企業等

先進技術



・マッチング件数：108件

※令和5年11月時点

技術の登録例

- 河川の水位予測システム
- スマホ向け防災アプリ・防災システム
- SNS等からの情報収集・解析システム 等

技術の登録

ニーズの検索

民間企業等

・登録件数：396件

※令和5年11月27日時点

・登録件数：1,005件

※令和5年11月27日時点

現在の機能

- ・登録したニーズ/先進技術(1団体で複数のニーズ/先進技術の登録が可能)に合致する先進技術/ニーズのマッチング
- ・災害フェーズ(平時、危険切迫時、応急対応時、復旧・復興期)、災害種別(風水害、地震、土砂災害、津波、火山災害、雪害、火災等)、団体の所在地、予算規模、導入時期、導入実績・表彰歴、キーワード等の諸条件を絞ったニーズ/技術の検索

防テクPFサイト
登録はこちらから



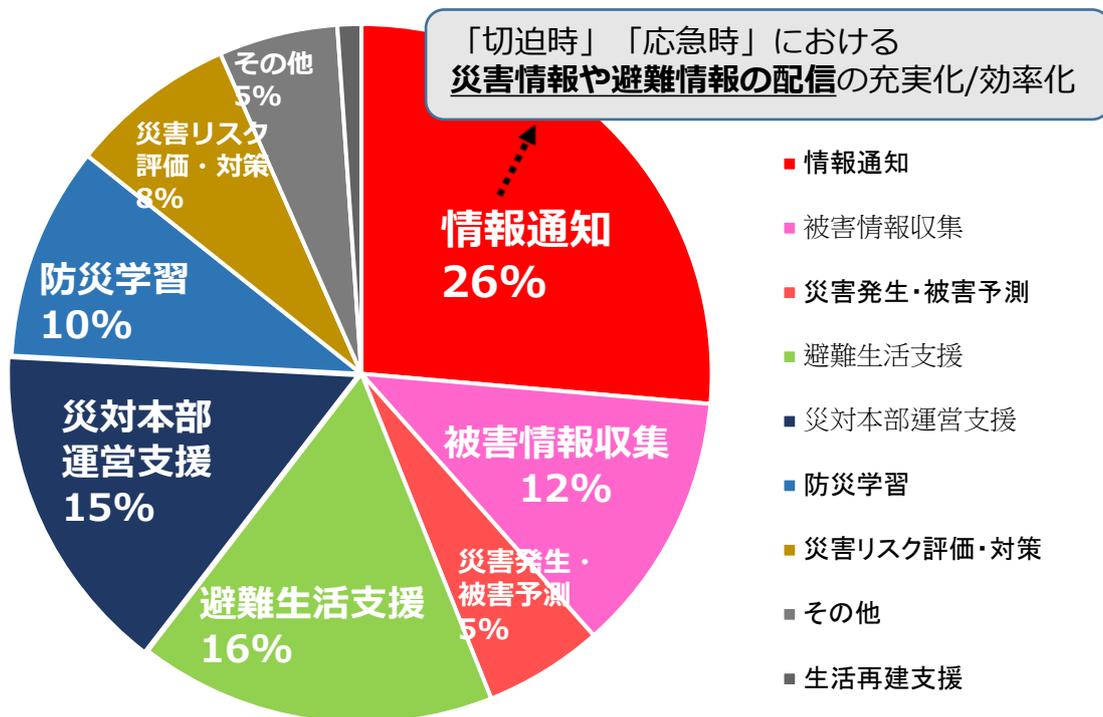
防テクPFを通じて判明した自治体等ニーズ・企業等技術について



- 現在マッチングサイトにおいて、91件のニーズ、504件の技術・商品・サービスが登録。
- ニーズでは、災害/避難に係る「情報通知」が約3割弱、次いで「避難生活支援」と「災对本部運営支援」がそれぞれ約2割弱程度を占め、被害情報や防災学習などの割合も高い。
- 技術・商品・サービスでは、「避難生活支援」が約4割、「情報通知」「被害情報収集」が約3割と多くを占め、一方でニーズ比率が高い「災对本部運営支援」の割合が低い傾向。

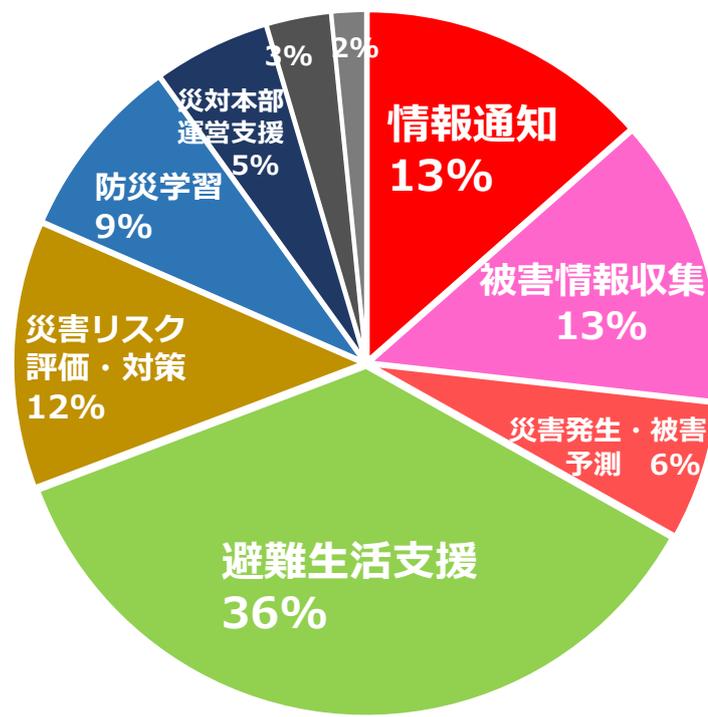
○ニーズの傾向（R5.10時点）

登録先数：386件 登録ニーズ件数：91件



○技術・商品・サービスの傾向（R5.10時点）

登録先数：980団体 登録技術件数：504件



平時、切迫時、応急時、復旧時にわたり災害対応の多種・多様なニーズ・技術が登録

令和5年度防テクPFを通じたマッチング事例



- 防テクPFを通じ、**108ペア**（44自治体,62企業）がマッチング。
- 上記のうち、現在打合せや実証実験が進展している事業は**38ペア**。
（令和5年10月時点） ※マッチング件数（ペア）⇒④では事業化済自治体数を抽出。

① 打合せ・実証中

16ペア



等 合計 10自治体11企業

② 予算化検討中

16ペア



等 合計 10自治体

③ 予算確保

1ペア

（1自治体）



事業化せず
※検討に貢献

28自治体

58ペア

④ 事業化・委託先決定済

9 自治体

PF内企業
と事業化

5自治体

5ペア



PF外企業
と事業化

4自治体

上記事業化により選外

12ペア

令和5年度防テクPFを通じたマッチング事例



- 防テクPFを通じ、事業者選定まで進んだ自治体のうち、5自治体に状況をヒアリング。
- 防テクPF活用の理由やメリット等、共通する事項が見られる。

自治体名	ニーズ	構築システム	背景	PF活用理由	財源	PFメリット	スケジュール
福知山市	避難情報の迅速な発令	避難情報発令支援システム	<災害> H30.7豪雨 <制度> ガイドライン改正 <上位方針> あり方検討会	何から手を付けてよいかわからない	緊防債	複数社から情報収集 ニーズのブラッシュアップ	R3 R4 R5 R6 R3.7 サイト登録 台風7号で効果を確認
長岡市	効率的な個別避難計画策定	個別避難計画策定支援システム	<制度> 災対法改正	仕様が作れない	自治体予算		R4.6 個別相談会参加 R5.8 公募・選定
たつの市	情報伝達の多重化	防災無線音声アプリ配信	<環境> 防災行政無線更新のタイミング	情報源が少ない	緊防債		R4.9 個別相談会参加 R5.6 契約締結
山元町	災害対応の円滑・迅速化	災害対策本部運営システム	<災害> R3,4福島沖地震/R1台風19号 <上位方針> 首長マニフェスト	仕様のブラッシュアップ	デジ田交付金		R5.2 個別相談会参加 R5.6 補正予算公募・措置 R5.9 選定
市川町	避難所wifi環境整備	モバイルルーター	<上位方針> 地域防災計画に基づく避難所環境整備	気軽な意見交換の場	自治体予算		R4.9 セミナー参加 R5.5 契約締結

令和5年度防テクPFを通じたマッチング事例



- 防テクPFを通じ、事業者選定まで進んだ自治体のうち、5自治体に状況をヒアリング。
- 防テクPF活用の理由やメリット等、共通する事項が見られる。

自治体名	ニーズ	構築システム	背景	PF活用理由	財源	PFメリット	スケジュール
福知山市	避難情報の迅速な発令	避難情報発令支援システム	<災害> H30.7豪雨 <制度> ガイドライン改正 <上位方針> あり方検討会	何から手を付けてよいかわからない	緊防債	・公平性 ・スクラッチでの開発	
長岡市	効率的な個別避難計画策定	個別避難計画策定支援システム	<制度> 災対法改正	仕様が作れない	自治体予算	複数社から情報収集 ニーズのブラッシュアップ 新たな選択肢発見	
たつの市	情報伝達の多重化	防災無線音声アプリ配信	<環境> 防災行政無線更新のタイミング	情報源が少ない	緊防債		
山元町	災害対応の円滑・迅速化	災害対策本部運営システム	<災害> R3,4福島沖地震/R1台風19号 <上位方針> 首長マニフェスト	仕様のブラッシュアップ	デジ田交付金		
市川町	避難所wifi環境整備	モバイルルーター	<上位方針> 地域防災計画に基づく避難所環境整備	気軽な意見交換の場	自治体予算		
							<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーでの気軽な意見交換 ・目的意識を持った交渉 (無闇な売込ではなく)